

▼「夢の世界を」2年 p.4 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

歌詞の内容や曲想を感じ取り，拍の流れにのって合唱しよう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

リズム，テクスチュア，形式，構成

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想に関心をもち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①8分の6拍子，斉唱と混声三部合唱のテクスチュア，二部形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　　創…音楽表現の創意工夫　　技…音楽表現の技能)

学習の流れ (夢の世界を)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想に関心をもつ。</p>	<p>○範唱を聴いて、1番と2番を歌う。</p> <p>○歌詞の表す情景や心情について自由に話し合う。</p> <p>○前半[A]と後半[B]の違いについて気付いたことや感じたことをワークシートに記入し、発表する(生徒の発言は整理して板書し、共有する)。</p> <p>○前半[A]と後半[B]の違いを意識して歌う。</p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【観察，ワークシート】</p>
<p>●8分の6拍子、斉唱と混声三部合唱のテクスチャ、二部形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受する。</p> <p>●知覚・感受しながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</p> <p>●どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○歌いながら体を動かしたり指揮をしたりして8分の6拍子の特徴をとらえる。</p> <p>○前半[A]の斉唱と後半[B]の混声三部合唱の響きを歌ったり聴いたりして比較し、聴き取ったり感じ取ったりしたことを意見交流する。</p> <p>○リズム、テクスチャ、形式に注目し、作曲者はなぜこのように作曲したのかをグループで考え、発表し合う。</p> <p>○歌いながら曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</p> <p>○どのように歌うかについての自分の考えや、特に表現を工夫するポイントとその理由をワークシートに記入し、発表する。</p> <p>◆創①【ワークシート】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○曲にふさわしい音楽表現となるように、クラス全体やグループや個人で、発声、言葉の発音、呼吸法などの歌い方をいろいろと試す。</p> <p>○これまでの学習を生かして、グループあるいは1人で歌う。</p> <p>○ワークシートを見ながら学習内容を振り返る。</p> <p>○学習内容を意識してクラス全体で歌う。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「翼をください」2年 p.8 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

曲想を感じ取り，パートの役割を理解して合唱しよう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア，ウ

主な学習の窓口〔共通事項〕

リズム，テクスチュア，形式，構成

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち，曲にふさわしい音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①旋律の重なり方や伴奏のリズムの変化を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わい，声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し，どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　創…音楽表現の創意工夫　技…音楽表現の技能)

学習の流れ (翼をください)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもつ。</p>	<p>○範唱を聴き，歌詞の内容や曲想について自由に話し合う。</p> <p>○各パートに分かれて音の高さに気を付けながら歌う。</p> <p>○全員で，声部の重なり方を意識しながら合わせて歌う。</p> <p>○パートごとに歌い，声部の役割について気付いたことや感じたことをワークシート（教科書p. 10）にまとめる。</p> <p>○歌詞の内容や曲想，声部の役割を感じ取りながら合わせて歌う。</p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもっている【観察，ワークシート】</p>
<p>●旋律の重なり方や伴奏のリズムの変化を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。</p> <p>●知覚・感受しながら，歌詞の内容や曲想を味わい，声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し，どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○A B Cの各部分を歌ったり聴いたりしながら，旋律の重なり方や伴奏のリズムの変化を確認し，各部分の曲想について感じ取ったことをグループで意見交流する。</p> <p>○自分のパートをどのように歌うかについての自分の考えや，特に音楽表現を工夫するポイントとその理由をワークシートに記入する。</p> <p>○パートに分かれてA B Cの各部分をどのように工夫して歌うとよいかについて意見交流し，曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</p> <p>○クラス全体で意見交流しながら，いろいろな工夫を試し，曲にふさわしい音楽表現を探る。</p> <p>◆創①【ワークシート】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち，曲にふさわしい音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○歌詞の内容や各部分の曲想，声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現となるように，クラス全員やパートで，発声，言葉の発音，呼吸法などの歌い方を試す。</p> <p>○学習内容を意識して，クラス全体で合わせて歌う。</p> <p>○ワークシートを見ながら学習内容を振り返る。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「夏の思い出」2年 p.12 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

情景を思い浮かべながら，言葉を大切に歌おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

旋律，強弱

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想に関心を持ち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①旋律の音の動きやフレーズ，強弱，伴奏を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　創…音楽表現の創意工夫　技…音楽表現の技能)

学習の流れ（夏の思い出）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●旋律の音の動きやフレーズ、強弱、伴奏を覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○尾瀬の風景を中心とした写真や映像、自然の音（風や水の音、鳥の声）などから、歌詞の表す情景を想像する。</p> <p>○教科書p.13の「作曲者の言葉」を読み、どのようなことに気を付けて表現したらよいかの手掛かりにする。</p> <p>○歌詞を音読したり、通して歌ったり範唱を聴いたりして、歌詞と旋律の関係、強弱、伴奏型や響きの変化などを感じ取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ “やさしい影”， “水の辺り” の部分の強弱の変化やテヌート。 ・ 1番 “咲いている”， 2番 “におっている” のリズムの違い。 ・ “はらかな尾瀬” の部分の強弱の変化やテヌート， フェルマータ。 <p>○歌詞と旋律の関係を感じ取り、旋律と強弱のかかわりや伴奏の響きの変化などについて発表し合う。</p> <p>○強弱や伴奏の変化がどのような効果を生み出しているかを感じ取り、歌いながら曲にふさわしい音楽表現を工夫する。</p> <p>○工夫したことや練習が必要なことなど、どのように歌うかについて自分の考えをワークシートに記入する。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p> <p>◆創①【観察，ワークシート】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○前時の学習内容を思い出し、歌詞の内容や曲想を意識して歌う。</p> <p>○どのように歌うかについての自分の考えや、特に音楽表現を工夫するポイントについて発表し、話し合う。</p> <p>○話し合ったことを基に、曲にふさわしい音楽表現となるようグループで斉唱したり独唱したりして、発声、言葉の発音、呼吸法などの歌い方をいろいろと試す。</p> <p>○学習内容を振り返り、これまでの学習を生かして全体で歌う。</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「夏の日贈りもの」2年 p.14 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

旋律の音の動きを理解し、表現を工夫して歌おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア、ウ

主な学習の窓口〔共通事項〕

旋律，強弱

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち，曲にふさわしい音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①旋律の音の動きやフレーズ，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わい，声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し，どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想，声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関--音楽への関心・意欲・態度 創--音楽表現の創意工夫 技--音楽表現の技能)

学習の流れ (夏の日の贈りもの)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想, 声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち, 曲にふさわしい音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○範唱を聴き, 歌詞の内容から情景や心情をイメージしながら曲全体の感じをつかむ。</p> <p>○自分のパートの旋律を, 正確な音高やリズムで歌えるように練習する。</p> <p>○教科書p.17を参考に, 旋律の音の動きやフレーズ, 強弱を感じ取る。</p> <p>○合わせて歌いながら, 声部の役割と全体の響きについて理解する。</p> <p>◆関①【観察】</p>
<p>●旋律の音の動きやフレーズ, 強弱を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 歌詞の内容や曲想を味わい, 声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し, どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○自分のパートの旋律を正確な音高やリズムで歌えるよう, リーダーを中心にパート練習する。</p> <p>○声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して, ハーモニーを感じながら, 全体で合唱練習をする。</p> <p>○これまでの学習の成果を録音する。</p> <p>○録音を聴き, 表現をさらに高めたい点について意見を出し合い, ワークシートにまとめる。</p> <p>○歌詞の内容, 旋律の音の動きやフレーズ, 強弱の変化から生まれる楽曲の美しさなどを生かした表現の工夫について考える。</p> <p>○ワークシートから次時の課題を見いだす。</p> <p>◆創①【観察, ワークシート】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想, 声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な発声, 言葉の発音, 呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○表現の工夫について意見を出し合いながら, パート練習をする。</p> <p>○曲を前半, 後半に分け, 前半は言葉のまとまり, 後半は曲の山に向かう強弱などを意識しながら全体で歌う練習をする。</p> <p>○最後に録音し, 前時と比べて高まった表現を確認する。</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「ア カペラの合唱曲」(鑑賞) / 「Kum Ba Yah」(歌唱) 2年 p. 18, 19 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

- (鑑賞) ア カペラによる響きの美しさを味わいながら聴こう。
(歌唱) ア カペラによる響きの美しさを味わいながら合唱しよう。

学習指導要領との関連

- A 表現 (1) 歌唱ウ
B 鑑賞ウ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色, テクスチャ

評価規準

- 関 ①声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心をもち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習や、諸外国の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①声の音色、和音、ア カペラの響きを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。
- 鑑 ①音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞している。

(関--音楽への関心・意欲・態度 創--音楽表現の創意工夫 技--音楽表現の技能 鑑--鑑賞の能力)

学習の流れ (ア カペラの合唱曲/Kum Ba Yah)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●声部の役割と全体の響きとのかかわりに関心を持ち、音楽表現を工夫しながら合わせて歌う学習や、諸外国の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○「ア カペラの合唱曲」を聴き、様々な地域や時代の曲であることを知って、響きや音色の違いについて話し合う。</p> <p>○声の音色、和音、ユニゾンとハーモニー、パートのバランスなどによって生み出されるア カペラの響きの美しさを感じ取って、ワークシートに記入する。</p> <p>○「Kum Ba Yah」をパートごとに音取りをしたあと、合わせて歌う。</p> <p>◆関①【観察、ワークシート】</p>
<p>●声の音色、和音、ア カペラの響きを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、声部の役割と全体の響きとのかかわりを理解して音楽表現を工夫し、どのように合わせて歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○「Kum Ba Yah」を合唱またはアンサンブルで、パートのバランスを変えたり、音色を変えたりして試行錯誤し、工夫しながら歌う。</p> <p>○録音したり互いに聴き合ったりするなどして、美しい響きになるよう意見交流する。</p> <p>○工夫した点や、気付いたことなどをワークシートに記入する。</p> <p>◆創①【観察、ワークシート】</p>
<p>●音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞する。</p> <p>●声部の役割と全体の響きとのかかわりを生かした音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○再び鑑賞し、それぞれの表現が生み出す固有の美しさについて話し合い、多様な音楽の表現について文章にまとめる。</p> <p>○もう一度、様々なア カペラの曲を味わって聴く。</p> <p>○「Kum Ba Yah」の成り立ちを理解し、発声、言葉の発音、呼吸法、パートのバランスなどについて、曲にふさわしい表現を考えて歌う。</p> <p>◆鑑①【観察、ワークシート】</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「荒城の月」2年 p. 20
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

歌詞や旋律が醸し出す雰囲気を楽しむながら歌おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

旋律

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想に関心を持ち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①速度や強弱，旋律の音の動きを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　創…音楽表現の創意工夫　技…音楽表現の技能)

学習の流れ（荒城の月）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
●歌詞の内容や曲想に関心をもつ。	<p>○曲想を味わいながら範唱を聴く。</p> <p>○歌詞が表す情景や心情について、グループやクラス全体で話し合う。</p> <p>○歌詞の意味や内容を知り、文語体や七五調のリズムを味わいながら歌詞を朗読する。</p> <p>○歌詞の内容や曲想を意識しながら、グループや個人で歌う。</p> <p>◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【観察】</p>
<p>●速度や強弱、旋律の音の動きを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>●歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○原曲と編曲したものを聴き比べ、気付いたことや感じたことを意見交流する。</p> <p>○原曲と編曲したものの異なる点に着目しながら、その違いによってどのような特徴や雰囲気が生み出されているのか、歌いながら確かめる。</p> <p>○旋律の音の動きと強弱の結び付きを意識しながら、歌詞の内容や曲想にふさわしい音楽表現を工夫する。</p> <p>○どのように歌うかについての自分の考えや、工夫するポイントとその理由をワークシートに記入する。</p> <p>◆創①【ワークシート】</p> <p>◆関①【観察】</p>
●歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。	<p>○歌詞を文節に区切り、文語体や七五調のリズムを意識しながら歌ったり、曲想に合った発声をいろいろと試したりする。</p> <p>○これまでの学習を確認しながら、ペアやグループで練習する。</p> <p>○これまでの学習内容を意識し、歌詞や旋律が醸し出す雰囲気を味わいながらクラス全体で歌う。</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「メッセージ」2年 p. 22
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

歌詞と旋律の関わりに注目し，表現を工夫して歌おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

旋律，強弱

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想に関心をもち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①言葉のまとまりと旋律の音の動き，強弱を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度 創…音楽表現の創意工夫 技…音楽表現の技能)

学習の流れ（メッセージ）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想に関心をもつ。</p>	<p>○範唱を聴いたあと、各パートに分かれて音を確認する。 ○ハーモニーを確認しながらクラス全体で合わせて歌う。 ○“おもいきり” “まっすぐに” “そっと” など、言葉のもつリズムや抑揚が旋律に生かされていることを確認したり、休符から言葉のまとまりを意識したりしながら、歌詞を音読する。 ○言葉と旋律の結び付きを意識しながら、範唱を再度聴く。 ○言葉のまとまりと旋律の音の動きを意識しながら歌う。 ◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【観察】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想に関心を持ち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●言葉のまとまりと旋律の音の動き、強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○楽譜に付けられた強弱記号から、作曲者の思いや意図についてイメージしたことをワークシートに記入し、グループで意見交流する。 ○強弱を意識するとともに、“おもいきり” “まっすぐに” “そっと”などの語感を生かしながら歌い、曲にふさわしい音楽表現を工夫する。 ○どのように歌うかについて、意識するポイントをワークシートにまとめる。 ◆関①【観察，ワークシート】 ◆創①【観察，ワークシート】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○前時の学習内容を思い出し、歌詞の内容や曲想、言葉のまとまりや語感、強弱を意識して歌う。 ○曲にふさわしい音楽表現になるように、ペアやグループ、パートに分かれて、いろいろと試し、気付いたことを意見交流する。 ○学習内容を振り返り、これまでの学習を生かして全体で歌う。 ◆技①【演奏】</p>

▼「サンタ ルチア」2年 p.24 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

曲想を生かして表情豊かに歌おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア，イ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，旋律，強弱

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性に関心をもち，それらを生かし曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①旋律の特徴や強弱の変化，声の音色を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わい，曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度 創…音楽表現の創意工夫 技…音楽表現の技能)

学習の流れ（サンタ ルチア）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想に関心をもつ。</p>	<p>○範唱を聴き日本語詞で歌い，歌詞の表す情景や曲想をとらえる。 ○旋律の特徴について気付いたことをワークシートに記入して発表する。 ○発表された意見を参考にしながら歌う。 ◆関：歌詞の内容や曲想に関心をもっている。【ワークシート，発表】</p>
<p>●旋律の特徴や強弱の変化，声の音色を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。</p> <p>●知覚・感受しながら，歌詞の内容や曲想を味わい，曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○原語の演奏を聴く。 ○イタリア語の語感（発音，アクセント，リズム）などについて気付いたことをワークシートに記入して発表する。 ○再度，原語の演奏を聴く。 ○発声の特徴や強弱の変化について気付いたことをワークシートに記入して発表する。 ○歌詞の内容や曲想，旋律の特徴や強弱の変化，イタリア語の語感や発声の特徴に注意し，曲にふさわしい表現を工夫して歌う。 ◆創①【演奏】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性に関心を持ち，それらを生かし曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●歌詞の内容や曲想，曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○曲にふさわしい表現となるように発声，言葉の発音，呼吸法などの歌い方に視点をおき，範唱を聴く。 ○クラス全体やグループ，個人で，発声，言葉の発音，呼吸法などの歌い方をいろいろと試す。 ○ワークシートを見ながら学習内容を振り返る。 ○これまで学習したことを生かして，日本語や原語で独唱をする。 ○学習内容を意識してクラス全体で歌う。 ◆関①【観察】 ◆技①【演奏】</p>

▼「花の季節」2年 p.26
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

速度の変化を工夫して歌おう。

学習指導要領との関連

A 表現（1）歌唱ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

速度，形式・構成

評価規準

- 関 ①歌詞の内容や曲想に関心をもち，曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①速度の変化，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①歌詞の内容や曲想を生かした，曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，呼吸法などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度 創…音楽表現の創意工夫 技…音楽表現の技能)

学習の流れ（花の季節）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●歌詞の内容や曲想に関心をもち、曲にふさわしい音楽表現を工夫して歌う学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○範唱を聴き、歌詞や旋律を参考に曲のイメージや速度の変化をとらえる。</p> <p>○女声と男声に分かれて、音を確認しながら歌う。</p> <p>○速度用語を確認する。</p> <p>○歌いながら体を動かしたり指揮をしたりして、速度の変化を感じ取る。</p> <p>○AとBの速度の違いによって生まれる曲想の変化を感じ取りながら合唱する。</p> <p>◆関①【観察】</p>
<p>●速度の変化、構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、歌詞の内容や曲想を味わって曲にふさわしい音楽表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○速度に注目し、AとBの違い、Aの中での変化、Bの中での変化などによって曲想がどう変化するかを考えて意見交流する。</p> <p>○独唱やグループ唱などで、Aの最後の2小節の速度をどのくらい変化させたらよいかを考え、歌いながら工夫する。</p> <p>○同様に、Bの中での速度変化についても考え、歌いながら工夫する。</p> <p>○どのように歌うかについての自分の考えや、特に表現を工夫するポイントとその理由をワークシートに記入する。</p> <p>◆創①【観察，ワークシート】</p>
<p>●歌詞の内容や曲想を生かした、曲にふさわしい音楽表現をするために必要な発声、言葉の発音、呼吸法などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○曲にふさわしい表現になるように、クラス全体やグループ、個人で、発声、言葉の発音、呼吸法などの歌い方をいろいろと試す。</p> <p>○これまでの学習を生かして、全体やグループで歌う。</p> <p>○工夫したことによって、どのように歌唱表現が変わったかを発表する。</p> <p>○学習内容を振り返り、クラス全体で歌う。</p> <p>◆技①【演奏】</p>

▼「My Melody」2年 p.28
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

和音の音を使って旋律をつくろう。

学習指導要領との関連

A 表現（3）創作ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

旋律

評価規準

- 関 ①和音とその進行の特徴，長調の音階の特徴に関心を持ち，それらを生かし音楽表現を工夫して旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①音のつながり方を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じしながら，和音とその進行の特徴，長調の音階の特徴を生かした音楽表現を工夫し，どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①和音とその進行の特徴，長調の音階の特徴を生かした音楽表現をするために必要な課題に沿った音の組合せ方，記譜の仕方などの技能を身に付けて旋律をつくっている。

（関…音楽への関心・意欲・態度　　創…音楽表現の創意工夫　　技…音楽表現の技能）

学習の流れ (My Melody)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●和音とその進行の特徴，長調の音階の特徴に関心を持ち，それらを生かし音楽表現を工夫して旋律をつくる学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○和音について理解し，音の重なりや与えられた和音の進行の特質や雰囲気を感じ，意見交流する。</p> <p>○和音とその進行を生かしてつくった旋律の例を聴き，自分なりの旋律づくりについて見通しをもつ。</p> <p>○感受したことを生かして，どのような旋律をつくるか自分なりの思いや意図を考え，交流する。</p> <p>○思いや意図を踏まえて，様々な音のつながり方を試しながら旋律をワークシートに記入する。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p>
<p>●音のつながり方を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら，和音とその進行の特徴，長調の音階の特徴を生かした音楽表現を工夫し，どのように旋律をつくるかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○様々な音のつながり方を試しながら旋律をつくる。</p> <p>○グループ内で途中経過を発表し合い，相手にどのような印象を与える旋律になっているかを話し合う。</p> <p>○話し合ったことを基に，自分の思いや意図に合っているかを，歌ったり楽器で演奏したりしながらあらためて確認し，ワークシートに記入する（楽器は，リコーダーや鍵盤楽器など，可能であれば数種類から選択できるとよい）。</p> <p>◆創①【観察，ワークシート】</p>
<p>●和音とその進行の特徴，長調の音階の特徴を生かした音楽表現をするために必要な課題に沿った音の組合せ方，記譜の仕方などの技能を身に付けて旋律をつくる。</p>	<p>○教師の弾く「和音と低音」に合わせてそれぞれがつくったアの旋律をリレーし，グループごとに発表する（旋律と和音の進行とのかかわりを感じやすいように，教師は適宜補助する）。</p> <p>○気付いたことや感じたことをワークシートに記入し，意見交流する。</p> <p>○学習を振り返り，学んだことを文章にまとめる。</p> <p>◆技①【ワークシート】</p>

▼ 「Let's Create!」 2年 p. 30
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

構成を工夫して、言葉によるリズムアンサンブルをつくろう。

学習指導要領との関連

A 表現（3）創作イ

主な学習の窓口〔共通事項〕

リズム，テクスチュア，形式・構成

評価規準

- 関 ①反復，変化，対照などの構成や全体のまとまりに関心をもち，それらを生かし音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①リズム，リズムの重なり方，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽で表現したいイメージをもち，音素材の特徴を生かし，反復，変化，対照などの構成や全体のまとまりを工夫し，どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①反復，変化，対照などの構成や全体のまとまりを生かした音楽表現をするために必要な課題に沿った音の組合せ方，記譜の仕方などの技能を身に付けて音楽をつくっている。

(関…音楽への関心・意欲・態度　創…音楽表現の創意工夫　技…音楽表現の技能)

学習の流れ (Let's Create!)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●反復，変化，対照などの構成や全体のまとまりに関心をもち，それらを生かし音楽表現を工夫しながら音楽をつくる学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○教科書p. 30 1の「リズムのもと」の例を全員で演奏し，「リズムのもと」のつくり方を理解する。</p> <p>○1人1つずつ好きな材料を選んで「リズムのもと」を3つづくり，ワークシートに記入する。</p> <p>○教科書p. 30 2のリズムの例を全員で演奏し，「リズムのもと」を繰り返したりつなぎ合わせたりして，2小節のリズムをつくることを理解する。</p> <p>○自分がつくった「リズムのもと」を繰り返したりつなぎ合わせたりして2小節のリズムをつくり，ワークシートに記入して発表する。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p>
<p>●リズム，リズムの重なり方，構成を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽で表現したいイメージをもち，音素材の特徴を生かし，反復，変化，対照などの構成や全体のまとまりを工夫し，どのように音楽をつくるかについて思いや意図をもつ。</p>	<p>○教科書p. 31 3の重ね方の例と4の少しずつ食べる方法の例を全体で試し，「サラダを盛りつける音楽」と「サラダを食べる音楽」のイメージをもつ。</p> <p>○どのような順番で重ねていくか，どのように材料を減らしていくかをグループで話し合い，「サラダを盛りつける音楽」と「サラダを食べる音楽」をつくる。</p> <p>○表現したいイメージに合うような速度，強弱を考える。</p> <p>◆創①【観察，ワークシート】</p>
<p>●反復，変化，対照などの構成や全体のまとまりを生かした音楽表現をするために必要な課題に沿った音の組合せ方，記譜の仕方などの技能を身に付けて音楽をつくる。</p>	<p>○教科書p. 31 3と4の前後に，5の例にある掛け声を入れて，速度や強弱を変化させた演奏を全体で試し，完成形のイメージをもつ。</p> <p>○グループでつくった作品に掛け声を入れ，速度や強弱を工夫して「サラダを盛りつける音楽」と「サラダを食べる音楽」を続けて演奏し，発表し聴き合う。</p> <p>◆技①【観察，ワークシート】</p>

▼「フーガ ト短調」2年 p.32
教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

旋律が追いかけるように重なり合っていくおもしろさを味わおう。

学習指導要領との関連

B 鑑賞ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，テクスチュア，形式・構成

評価規準

- 関 ①パイプオルガンの音色，多声的な音楽，フーガの形式と曲想とのかかわりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
- 鑑 ①パイプオルガンの音色，多声的な音楽，フーガの形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。
- ②知覚・感受しながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

(関--音楽への関心・意欲・態度 鑑--鑑賞の能力)

学習の流れ（フーガ ト短調）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●パイプオルガンの音色，多声的な音楽，フーガの形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じる。</p>	<p>○冒頭部分を聴き，演奏している楽器や演奏人数を考える。</p> <p>○映像を見て，楽器の構造や歴史について理解する。</p> <p>○作曲者について知っていることや曲について気付いたことを発表する。</p> <p>○主題が演奏される回数や気付いたことをワークシートに記入し，意見交流する。</p> <p>○始めに示された主題が，次々と加わる他の声部によって，繰り返されながら展開していく形式のことをフーガと呼ぶことを知る。</p> <p>◆鑑①【観察，ワークシート】</p>
<p>●パイプオルガンの音色，多声的な音楽，フーガの形式と曲想とのかかわりに関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <p>●知覚・感受しながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>○前時の学習を振り返りながら曲を聴いて，パイプオルガンの音色，主題の現れ方や旋律の重なり方を知覚し，フーガの形式について理解する。</p> <p>○これまでの学習を生かして「フーガ ト短調」の紹介文や批評文を書く。</p> <p>○それぞれが書いた文章を交流する。</p> <p>○学習内容を振り返り，まとめの鑑賞をする。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p> <p>◆鑑①【観察，ワークシート】</p>

▼「交響曲第5番 ハ短調」2年 p.34 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

曲の構成に注目して曲想の変化を味わおう。

学習指導要領との関連

B 鑑賞ア

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，リズム，旋律，形式・構成

評価規準

- 関 ①オーケストラの響き，動機や主題の反復や変化，旋律の組合せ方，ハ短調，ソナタ形式と曲想とのかかわりに関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
- 鑑 ①オーケストラの響き，動機や主題の反復や変化，旋律の組合せ方，ハ短調，ソナタ形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。
- ②知覚・感受しながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

(関…音楽への関心・意欲・態度 鑑…鑑賞の能力)

学習の流れ (交響曲第5番 ハ短調)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●オーケストラの響き，動機や主題の反復や変化，旋律の組合せ方，ハ短調，ソナタ形式と曲想とのかかわりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○第1楽章を聴いて，気付いたことや感じたことをワークシートに記入し，意見交流をして共有する。</p> <p>○動機のリズムを手で打つなどして，冒頭の動機について理解する。</p> <p>○2つの主題，3つの部分について理解する（合わせて教科書p.37「交響曲について」も理解する）。</p> <p>○作曲者について理解する。</p> <p>○本時の学習内容を確認しながら楽曲を聴く。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p>
<p>●オーケストラの響き，動機や主題の反復や変化，旋律の組合せ方，ハ短調，ソナタ形式を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取る。</p>	<p>○オーケストラの響き，動機や主題の反復や変化，旋律の組合せ方，ハ短調，ソナタ形式を意識しながら楽曲を聴き，それぞれについて気付いたことや感じたことをまとめる。</p> <p>○それぞれがまとめたものをグループに分かれて発表し合い，共有する。</p> <p>○各グループの代表が発表をし，全員で共有する（グループ活動や全員で共有する場面においては，必要に応じて教師が補足説明し，理解を深める）。</p> <p>○共有したことなどを参考にしながら楽曲を聴く。</p> <p>○第1楽章を聴き，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わう。</p> <p>◆鑑①【観察，ワークシート】</p>
<p>●知覚・感受しながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>○前時までに学習したことを踏まえながら第1楽章を聴き，根拠をもって批評することで，音楽のよさや美しさを味わいながら全体を聴き取る。</p> <p>○批評を発表し合い，共有する。</p> <p>◆鑑②【観察，ワークシート】</p>

▼「アイダ」から 2年 p.38 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

オペラに親しみ、その音楽を味わいながら聴こう。

学習指導要領との関連

B 鑑賞ア, イ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色, 旋律, テクスチャ

評価規準

- 関 ①声の音色, 旋律, オーケストラと合唱のかかわりと曲想とのかかわりに関心をもち, 鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
②音楽の特徴と他の芸術との関連に関心をもち, 鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
- 鑑 ①声の音色, 旋律, オーケストラと合唱のかかわりを知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じている。
②知覚・感受しながら, 音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解する, 音楽の特徴を他の芸術と関連付けて理解するなどして, 解釈したり価値を考えたりし, 根拠をもって批評するなどして, 音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

(関--音楽への関心・意欲・態度 鑑--鑑賞の能力)

学習の流れ (アイダ)

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●声の音色，旋律，オーケストラと合唱のかかわりと曲想とのかかわりに関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <p>●声の音色，旋律，オーケストラと合唱のかかわりを知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ受する。</p>	<p>○第2幕第2場「凱旋行進曲」を聴き，音楽の雰囲気や音楽とそれ以外に聞こえてくる音から，舞台上の音楽であることに気づき，どんなことをしているかを想像する。</p> <p>○曲名，あらすじ，登場人物の関係を知る。</p> <p>○「清きアイダ」「おお，我が故郷」「さらばこの世よ，涙の谷よ」を聴き，声の音色，歌い方，旋律などの特徴をワークシートに記入し，どのような場面で歌っているか，また登場人物はどのような気持ちで歌っているかを想像する。</p> <p>○ワークシートに記入したことを発表し合い，意見交流する。</p> <p>○再度，第2幕第2場「凱旋行進曲」の冒頭から2分ぐらいまでを聴き，オーケストラのみの部分と合唱が入った部分の違いに注目して聴き，気付いたことをワークシートに記入する。</p> <p>◆関①【ワークシート】</p> <p>◆鑑①【ワークシート】</p>
<p>●音楽の特徴と他の芸術との関連に関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <p>●知覚・感受しながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解する，音楽の特徴を他の芸術と関連付けて理解するなどして，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>○第2幕第2場「凱旋行進曲」を視聴して，他の芸術との関連を知り，オペラを構成する要素を理解してワークシートに記入する。</p> <p>○オペラ「アイダ」について，(1) 音楽を形づくっている要素や構造 (2) 特質や雰囲気及び曲想 (3) (1) と (2) と他の芸術とのかかわり (4) 気に入ったところ，他者に紹介したいところ などの観点から，自分にとってどのような価値があるかを含めて批評文を書き，意見交流をして音楽を味わう。</p> <p>◆関②【ワークシート】</p> <p>◆鑑②【ワークシート】</p>

▼「歌舞伎 勸進帳 から」2年 p.42 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

日本の伝統芸能に親しみ，そのよさを味わおう。

学習指導要領との関連

B 鑑賞ア，イ，（ウ）

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，リズム，速度，旋律

評価規準

- 関 ①声や楽器の音色，節回し，リズム，速度と曲想とのかかわりや，音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
- 鑑 ①声や楽器の音色，節回し，リズム，速度を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解している。
- ②声や楽器の音色，節回し，リズム，速度を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解する，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解するなどして，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴いている。

（関…音楽への関心・意欲・態度 鑑…鑑賞の能力）

学習の流れ（歌舞伎 勸進帳 から）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●声や楽器の音色，節回し，リズム，速度と曲想とのかかわりや，音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○歌舞伎「勸進帳」の作者，あらすじ，また，歌舞伎が生まれた背景となる文化・歴史や他の芸術との関連などを理解する。</p> <p>○場面1を視聴し，唄，三味線，囃子によって演奏されていることを理解する。</p> <p>○場面2を視聴し，弁慶と富樫のせりふ回しの声の様子や問答がしだいに緊迫する場面の，声による表現の特徴を聴き取る。</p> <p>○場面3が舞の場面であることを理解しながら視聴する。</p> <p>○歌舞伎の特徴や，長唄やせりふを聴いて関心をもちたことをワークシートにまとめる。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p>
<p>●声や楽器の音色，節回し，リズム，速度を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解する。</p> <p>●声や楽器の音色，節回し，リズム，速度を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解する，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解するなどして，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして，音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p>	<p>○場面1を聴き，長唄の声の出し方の特徴，旋律の節回しや産字，三味線と唄とのかかわり合い，それぞれの楽器の役割などの特徴をまとめる。</p> <p>○場面2についてせりふを見ながら視聴し，せりふやその内容に合わせてどのように声を出しているか，せりふ回しや声の表現の特徴を聴き取る。</p> <p>○場面3を視聴し，舞と音楽のかかわりを，速度の変化，三味線の旋律や囃子のリズムなどに注目して感受し，理解する。</p> <p>○それぞれの場面の特徴をワークシートにまとめる。</p> <p>○歌舞伎の3つの場面の音楽と物語のかかわりや，歌舞伎が生まれた背景となる文化・歴史や他の芸術との関連などを理解し，それらについて聴き取ったり感じ取ったりしたことを基に価値を考え，批評文を書く。</p> <p>○意見交流する。</p> <p>○交流したことを基に，まとめの鑑賞をする。</p> <p>◆鑑①【観察，ワークシート】</p> <p>◆鑑②【観察，ワークシート】</p>

▼「長唄 勸進帳 から」(歌唱) 2年 p. 44 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

声や音楽の特徴を感じ取って唄おう。

学習指導要領との関連

A 表現 (1) 歌唱イ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色, 旋律

評価規準

- 関 ①曲種に応じた発声や言葉の特性に関心をもち, それらを生かして歌う学習に主体的に取り組もうとしている。
- 創 ①長唄の声の音色, 節回し, 唄い尻を知覚し, それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら, 曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して, それらを生かした音楽表現を工夫し, どのように歌うかについて思いや意図をもっている。
- 技 ①曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声, 言葉の発音, 身体の使い方などの技能を身に付けて歌っている。

(関…音楽への関心・意欲・態度 創…音楽表現の創意工夫 技…音楽表現の技能)

学習の流れ（長唄 勸進帳 から）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●曲種に応じた発声や言葉の特性に関心をもち、それらを生かして歌う学習に主体的に取り組む。</p> <p>●長唄の声の音色，節回し，唄い尻を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，曲種に応じた発声や言葉の特性を理解して，それらを生かした音楽表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもつ。</p> <p>●曲種に応じた発声や言葉の特性を生かした音楽表現をするために必要な発声，言葉の発音，身体の使い方などの技能を身に付けて歌う。</p>	<p>○声の特徴と旋律の音の動きに着目して模範演奏を聴いたり，授業支援DVDを視聴したりして，発声，音の高低や産字，唄い尻について感じたことをワークシートにまとめる。</p> <p>○教科書p. 45の歌詞を見ながら，一つ一つの言葉を丁寧にはっきりと音読する。</p> <p>○次に，言葉のまとまりを意識して音読する。</p> <p>○意味を理解するとともに，どのような場面で唄われているか，歌舞伎「勸進帳」の舞台映像を視聴して確認する。</p> <p>○旋律の音の高低を意識し，教科書p. 44の絵譜の旋律を指でたどりながら唄う。</p> <p>○発声や姿勢などはどのようにしたらよいか，唄い方をどのように工夫するかを考え，意見交流する。</p> <p>○意見交流したよい表現方法を，ワークシートにまとめる。</p> <p>○長唄の発声や言葉の特性を生かして，模範演奏に合わせて唄う。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p> <p>◆創①【観察，ワークシート】</p> <p>◆技①【演奏】</p>

※「うたう」の漢字表記について…「評価規準」と「学習内容」においては，国研の評価規準の設定例に倣って「歌う」を，「学習活動」においては，教科書に準じて「唄う」を用いています。

▼「文楽 新版歌祭文“野崎村の段”から」2年 p. 46 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

日本の伝統芸能に親しみ，そのよさを味わおう。

学習指導要領との関連

B 鑑賞ア，イ，（ウ）

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，リズム，速度，旋律

評価規準

- 関 ①声や楽器の音色，言葉の抑揚，リズム，速度，旋律と曲想とのかかわりや，音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心を持ち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
- 鑑 ①声や楽器の音色，言葉の抑揚，リズム，速度，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴いている。
- ②声や楽器の音色，言葉の抑揚，リズム，速度，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。

（関…音楽への関心・意欲・態度 鑑…鑑賞の能力）

学習の流れ（文楽 新版歌祭文「野崎村の段」から）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●声や楽器の音色，言葉の抑揚，リズム，速度，旋律と曲想とのかかわりや，音楽の特徴とその背景となる文化・歴史や他の芸術との関連に関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p>	<p>○場面1の冒頭を聴き，太夫の語りと三味線によって演奏される音楽であることを理解する。</p> <p>○教科書p.46を見ながら，文楽について，また，文楽が生まれた背景となる文化・歴史や他の芸術との関連などを理解する。</p> <p>○「野崎村の段」の登場人物や相関関係，あらすじを理解する。</p> <p>○詞章を見ながら，何が語られているのか，誰のせりふなのか，どんな情景を語っているのかを理解しながら聴く。</p> <p>○文楽の特徴，太夫の語りや三味線から聴き取ったことをワークシートにまとめる。</p> <p>◆鑑①【観察，ワークシート】</p>
<p>●声や楽器の音色，言葉の抑揚，リズム，速度，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽を形づくっている要素や構造と曲想とのかかわりを理解して，解釈したり価値を考えたりし，根拠をもって批評するなどして音楽のよさや美しさを味わって聴く。</p> <p>●声や楽器の音色，言葉の抑揚，リズム，速度，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史や他の芸術と関連付けて理解して，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞する。</p>	<p>○場面1について，お光と久作の語り分けや，せりふと情景描写の表現の違いを聴き取る。</p> <p>○場面1の三味線について，せりふと情景描写の表現の違いを聴き取る。</p> <p>○場面2の三味線の旋律やリズム，速度の変化，奏法から生まれる様々な音色の特徴とその効果，曲想を聴き取る。</p> <p>○場面2の太夫の語り分けを場面1と比較し，その特徴を聴き取る。</p> <p>○それぞれの場面の特徴をワークシートにまとめる。</p> <p>○ワークシートにまとめたことを踏まえて，「野崎村の段」の2つの場面を鑑賞する。</p> <p>○文楽や義太夫節の特徴，文楽が生まれた背景となる文化・歴史や他の芸術との関連などを理解し，それらについて聴き取ったり感じ取ったりしたことを基に価値を考え，批評文を書く。</p> <p>○意見交流する。</p> <p>○交流したことを基に，まとめの鑑賞をする。</p> <p>◆鑑①【観察，ワークシート】</p> <p>◆鑑②【観察，ワークシート】</p>

▼「日本の郷土芸能／受け継ごう！郷土の芸能」2年 p. 48～51 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

人々の暮らしの中で受け継がれてきた日本の郷土芸能に親しみ、そのよさを味わおう。

学習指導要領との関連

B 鑑賞イ，ウ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，リズム，旋律

評価規準

- 関 ①音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や、郷土の伝統音楽の特徴と音楽の多様性に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。
- 鑑 ①声や楽器の音色，リズム，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，郷土の伝統音楽の特徴から音楽の多様性を理解して，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。
- ②声や楽器の音色，リズム，旋律を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解して，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。

(関--音楽への関心・意欲・態度 鑑--鑑賞の能力)

学習の流れ（日本の郷土芸能／受け継ごう！郷土の芸能）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や、郷土の伝統音楽の特徴と音楽の多様性に関心を持ち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <p>●声や楽器の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、郷土の伝統音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞する。</p>	<p>○教科書p.48の日本の郷土芸能を幾つか聴き、声や楽器の音色、リズム、旋律などの特徴をワークシートに記入する。</p> <p>○各芸能のもつ雰囲気や、どんなときに演奏される音楽であるかについて話し合う。</p> <p>○各芸能の背景を、資料や映像などを用いて知る。</p> <p>○音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や、音楽の多様性に注目して各地の郷土芸能を聴く。</p> <p>◆関①【観察，ワークシート】</p> <p>◆鑑①【観察，ワークシート】</p>
<p>●声や楽器の音色、リズム、旋律を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞する。</p>	<p>○自分の住む地域や修学旅行の訪問地など、自分とかかわりのある郷土芸能を鑑賞し、声や楽器の音色、リズム、旋律などの特徴や雰囲気を知覚・感受する。</p> <p>○郷土芸能について、調べてきたことを発表する。</p> <p>○郷土芸能の特徴や背景、雰囲気などを紹介する文を書き、発表する。</p> <p>○郷土芸能を味わって聴く。</p> <p>◆鑑②【観察，ワークシート】</p>

▼「世界の諸民族の音楽」2年 p. 52 教材の評価規準と学習の流れの例

学習目標

世界各地の音楽に触れ，そのよさを味わおう。

学習指導要領との関連

B 鑑賞イ，ウ

主な学習の窓口〔共通事項〕

音色，速度，旋律

評価規準

関 ①音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や，我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち，鑑賞する学習に主体的に取り組もうとしている。

鑑 ①声や楽器の音色，旋律，速度を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解して，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。

②声や楽器の音色，旋律，速度を知覚し，それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら，我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して，解釈したり価値を考えたりし，鑑賞している。

(関…音楽への関心・意欲・態度 鑑…鑑賞の能力)

学習の流れ（世界の諸民族の音楽）

●学習内容	○学習活動 ◆評価規準【評価方法】
<p>●音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や、我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもつ。</p> <p>●声や楽器の音色、旋律、速度などを知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、音楽の特徴をその背景となる文化・歴史と関連付けて理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞する。</p>	<p>○4曲それぞれの一部を聴き、どこの国、どの地域の音楽なのかを考える。</p> <p>○声や楽器の音色、演奏している雰囲気注目し、その国や地域だと感じ取った理由と合わせて気付いたことを発表する。</p> <p>○4曲がそれぞれどこの国や地域の音楽なのかを知る。</p> <p>○ジンジュとヨーデルを、声の音色や発声に注目して比較鑑賞し、音楽を形づくっている要素や雰囲気を聴き取り、ワークシートに記入する。</p> <p>○長唄、オペラなどと比較鑑賞し、特徴を考える。</p> <p>○シタールとチャランゴを、楽器の音色や奏法に注目して比較鑑賞し、音楽を形づくっている要素や雰囲気を聴き取り、ワークシートに記入する。</p> <p>○三味線、ギターやヴァイオリンなどと比較鑑賞し、特徴を考える。</p> <p>◆関：音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や、我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもっている。【観察、ワークシート】</p> <p>◆鑑①【観察、ワークシート】</p>
<p>●音楽の特徴とその背景となる文化・歴史との関連や、我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴と音楽の多様性に関心をもち、鑑賞する学習に主体的に取り組む。</p> <p>●声や楽器の音色、旋律、速度を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、我が国の伝統音楽及び諸外国の様々な音楽の特徴から音楽の多様性を理解して、解釈したり価値を考えたりし、鑑賞する。</p>	<p>○小グループでワークシートを基に意見交流する。</p> <p>○全体で意見交流して共有し、他者がどのように感じたかを知る。</p> <p>○世界の諸民族の音楽の特徴や価値をまとめ、批評文を書く。</p> <p>○音楽が生活や文化などとどのようにかかわっているかに目を向けながら、気に入ったところ、紹介したいところなどを批評文にまとめる。</p> <p>○批評文を発表し合う。</p> <p>○他者の感じ方を知り、あらためて4曲を鑑賞してよさを味わう。</p> <p>◆関①【発言、観察、ワークシート】</p> <p>◆鑑②【観察、ワークシート】</p>